

若者の地元就職・地元定着に向けた取組について

- (1) 中学生向けの取組 … 地域で学ぶ職場体験活動事業 (P 2 ~ 9)
- (2) 高校生向けの取組 … 地元企業早期ブランディング事業 (P 10 ~ 15)
- (3) 大学生等向けの取組 … 若者創業塾 (P 16 ~ 20)
鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業 (P 21 ~ 22)

地域で学ぶ職場体験活動事業（ワクワクとっとり）

総合教育センター 児童生徒支援係

1. 事業概要

（1）現在までの経緯

- ・ 鳥取市では職場体験学習を平成11年度より試行
- ・ 平成14年度からは旧市域全中学校で実施
- ・ 平成15年度以降は鳥取市単独の事業となっている
- ・ 市町村合併後の平成17年度以降は全学校で実施

（2）中学生2年生（各校で実施学年を決定）

（3）職場体験活動・企業訪問活動等

（4）実施期間は最大5日間



2. 実施状況

実施校	職場体験活動	13校
	代替活動（企業訪問等）	4校
参加生徒		1,443人
事業所		402事業所
指導ボランティア		504人

令和5年度「地域で学ぶ職場体験活動事業」事業実績



職場体験活動

- ・ あおや和紙工房
- ・ いなば幸朋苑
- ・ 公立鳥取環境大学
- ・ 鳥取市観光協会まちパル鳥取
- ・ 鳥取市役所秘書課広報室
- ・ 兔ッ兔ワイナリー
- ・ とうふちくわの里ちむら
- ・ 西根園芸
- ・ ひかり保育園
- ・ 吉岡温泉会館一ノ湯

他 343事業所

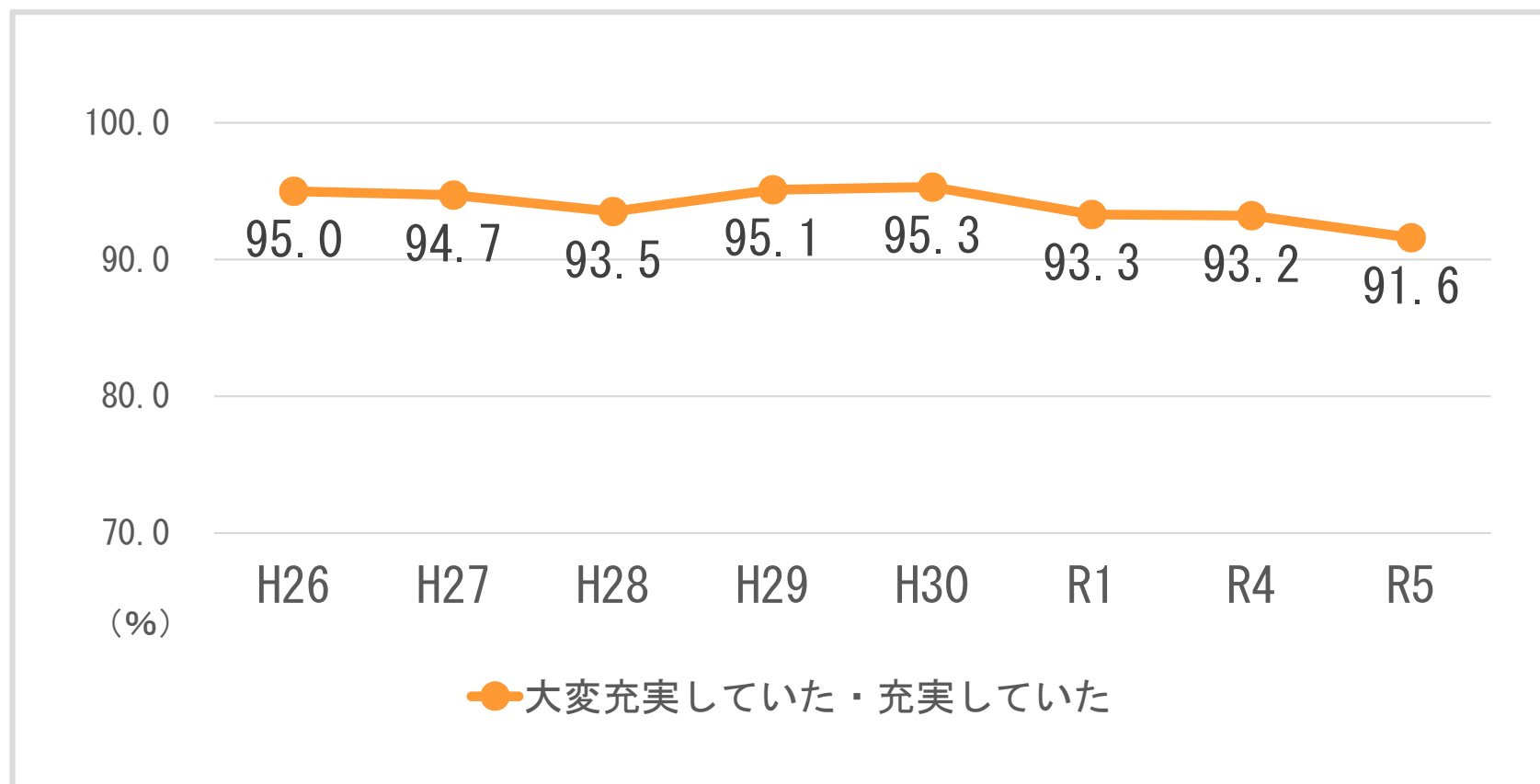
代替活動

- ・ 大江の郷自然牧場
- ・ かるいち
- ・ グッドヒル
- ・ 山陰合同銀行鳥取営業部
- ・ JR鳥取駅
- ・ 鳥取県警察本部
- ・ 鳥取砂丘ビジターセンター
- ・ 日本海新聞社
- ・ 日本海テレビジョン
- ・ 隼lab.

他 39事業所

3. 成果と課題

「あなたにとって、この期間はどんな期間でしたか」



令和5年度「地域で学ぶ職場体験活動事業」実施後アンケートより



お金を得るために仕事はあるのだと思います。だから両親には心から感謝しています。でもこの職場体験で目にしたことは、働くことの別の意味です。私がお世話になった事業の方は、「この仕事がやりたい」「この仕事が好きだ」と言う人ばかりでした。自分の仕事に誇りを持っているようで、キラキラ輝いて見えました。「誰かのため」「好きだから」そんな気持ちで将来仕事をしてみたいくなりました。

生徒の感想より

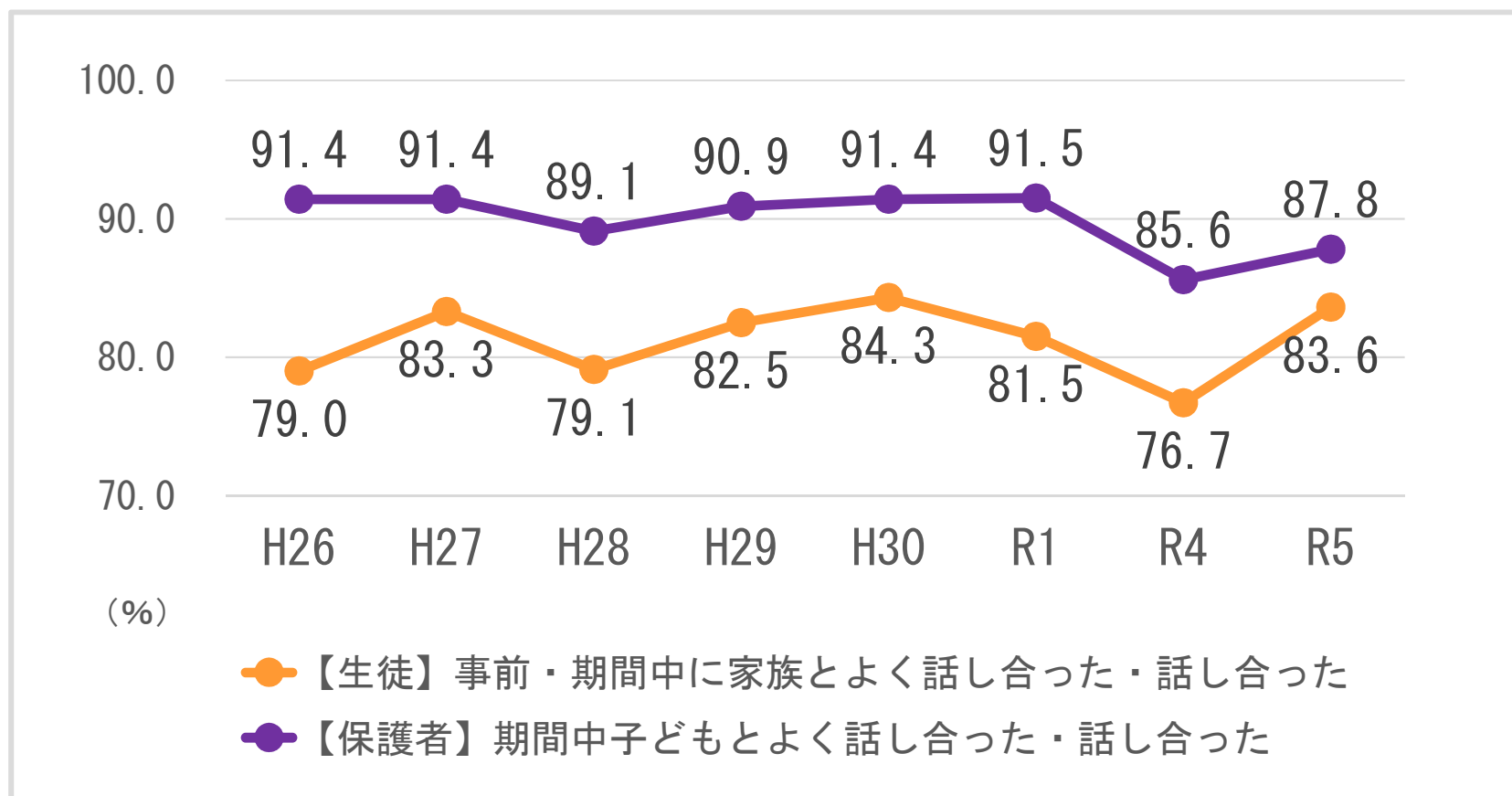


私は福祉施設で働きました。最初は人と接することの難しさに戸惑っていた私でしたが、利用者のことを考えて明るく優しい声かけをされる職員の皆さんとに溢れんばかりの素敵な笑顔を見せる利用者の方を見て、「きっと私にもできる」という気持ちで最後まで頑張りました。利用者のおばあさんから「ありがとう」と言われた時は胸が熱くなりました。

生徒の感想より

3. 成果と課題

「期間中、職場体験について家族で話し合いましたか」



令和5年度「地域で学ぶ職場体験活動事業」実施後アンケートより



ふるさとを思い
志をもつ人づくり



地元企業早期ブランディング事業（経済・雇用戦略課）

1. 背景

大学等への進学率の上昇や産業・経済の構造転換と労働市場の多様化・流動化など、就職環境の大きな変化の中、目的や進路の意識が希薄なまま進学する若者、進路・職業の選択を先送りにする若者が増える傾向にあります。

そのような中、将来に夢と希望を持ち、活力に満ちた若者を地域一体となって育てるために、進路を選択する前の早い時期からさまざまな職場での社会経験を通して、働くことの楽しさややりがいなどを学び、一人ひとりの職業観や地域とのつながりを育むことが必要とされています。

2023年卒 マイナビ大学生 Uターン・地元就職に関する調査

有効回答数：5,420名「内訳：文系男子969名 理系男子：954名 文系女子2,457名 理系女子1,040名」



地元就職希望の学生は年々低下していたが、2年連続で増加！

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	22年卒全体
回答数	1,683	214	338	443	688	1,883
働きたいと思うような企業が多くできる	43.3%	32.5%	44.5%	37.0%	49.9%	40.8%
給料がよい就職先が多くできる	41.5%	34.1%	38.4%	44.7%	43.3%	40.1%
地元で結婚したいと思う相手ができる	25.2%	18.6%	28.9%	23.7%	26.3%	22.6%
志望する職種に就けるようになる	23.1%	14.4%	24.5%	19.3%	27.5%	22.8%
地元就職をすることで都道府県から手当がもらえる	22.3%	19.8%	23.9%	22.5%	22.1%	20.3%
地元の経済が活性化する	21.3%	22.1%	14.8%	30.4%	18.5%	26.0%

「働きたいと思うような企業」が増えることが地元就職を増加させることができる！

地元企業早期ブランディング事業（経済・雇用戦略課）

2. 事業の概要

本市では「地元企業早期ブランディング事業」を進路選択前の高校1・2年生を対象に地元企業の魅力を知ってもらい、将来の地元就職やUターン就職につながる事業として、令和3年度から取り組んでいます。

高校生は、少人数グループに分かれて地域課題や地元企業をテーマとした探究学習を行っています。事前学習・地元企業への職場体験（フィールドスタディ）・事後学習といったカリキュラムを通じて、地元企業の魅力的な事業展開や地元で働く意義について深く学んでいきます。



地元企業早期ブランディング事業（経済・雇用戦略課）

職場体験学習（生徒）に
期待されること

- ①勤労観、職業観の育成の場
- ②新たな自分を発見する場
- ③人間関係の大切さを体得する場
- ④学校と社会をつなぐ場
- ⑤職業生活や社会生活に必要な知識、
技術に関心を持つ場
- ⑥地域への理解を促進する場

受入れ側（企業）のメリット

- ①企業P R
- ②職場の活性化
- ③子ども・若者の意識の把握
- ④若者、地域とのつながり

地元企業の魅力に触れた子供たちが主体的な学びと体験の好循環により、将来的な社会人・職業人として地域で活躍してくれること、あるいは地域とのつながりを大切にしながら地域外から関係を維持してくれることは、地域の持続可能性を高めることにつながります。

地元企業早期ブランディング事業（経済・雇用戦略課）

3-1. 事業の様子（事前学習）



- 私たちが解決したい地域の課題は？
- 私たちの考える課題に対する仮説は？
- 私たちの解決したい地域課題にヒントをくれる企業はどこだろう？
- 企業に対して質問してみたい！

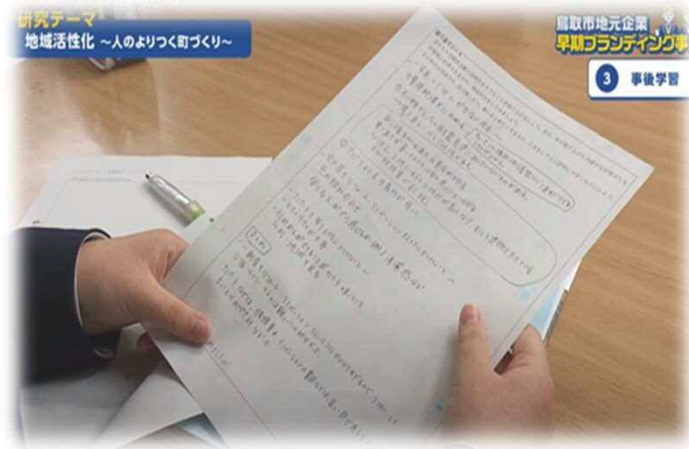
3-2. 事業の様子（フィールドスタディ）



- (生徒の発見)
- 企業と地域のつながりや地域への貢献
- 業務の体験
- 新しい知識
- (企業の発見)
- 若者の斬新な発想、アイデア

地元企業早期ブランディング事業（経済・雇用戦略課）

3-3. 事業の様子（事後学習）



- フィールドスタディで学んだことを基にさらに探究！
- 鳥取にも素晴らしい企業がある！
- 新たな地域とのつながりを想像！
- 将来はこんなことをやってみたい！

4. これまでの実施状況

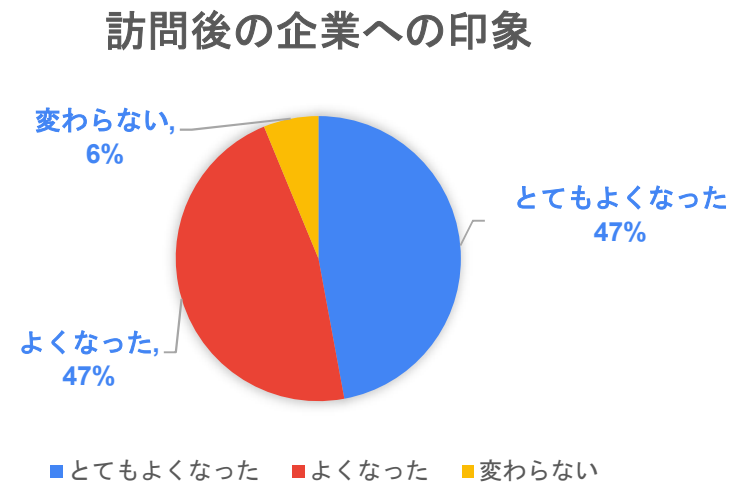
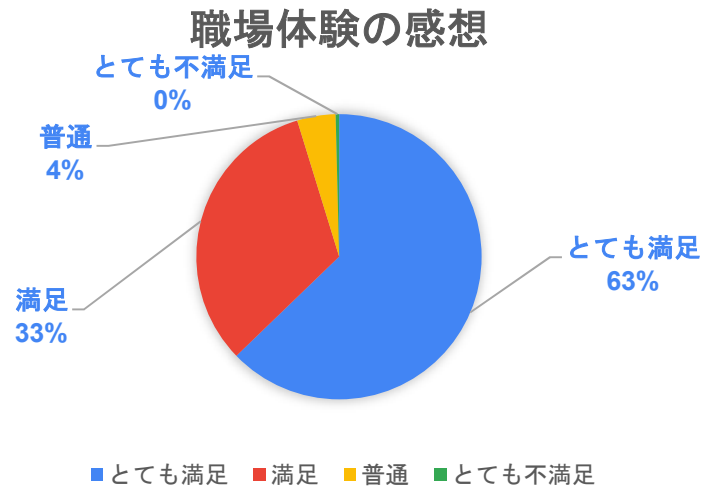
R 3		(訪問企業)
	鳥取西高校	278名・41社
	鳥取商業高校	153名・36社
	合計431名	

R 4		(訪問企業)
	鳥取西高校	282名・43社
	鳥取商業高校	151名・21社
	八頭高校	156名・16社
	合計589名	

R 5		(訪問企業)
	鳥取西高校	278名・34社
	鳥取商業高校	155名・20社
	八頭高校	166名・16社
	合計 599名	

地元企業早期ブランディング事業（経済・雇用戦略課）

5. 高校生の職場体験アンケート結果（令和5年度）



「会社のことや地域課題についてよく知ることができた」「人材不足分野の現状、仕事のやりがいについて知ることができた」といった意見や、「業務を体験させてもらいその分野に興味を持つことができた」などといったポジティブな意見が多くあった。

6. 今後の取組み

県内高校生の70%以上が進学し、その多くが県外へと進学する状況において、進学前の進路選択前の段階で地元企業の事業や魅力について知ってもらうことが重要となっており、更に実施高校、参加企業を増やし、地元企業の認知度向上に向けて取り組んでいきます。

鳥取市若者創業塾（経済・雇用戦略課）

1. 背景

「鳥取市で暮らしたい」「鳥取市に残りたい」「鳥取市に帰りたい」と思っている人は少なくない。しかし、問題は生活するためにはお金が必要であること。そしてお金を得るためには仕事が必要となる。本市としても従来より企業誘致に取り組んでいるが、一方で、「自分の希望に合う会社がない」というケースも少なくない。

自ら起業するという方法で生活の糧を得てもらい、「鳥取市で暮らしたい・・・」という思いを実現させていくことができるような取り組みが必要！

2. 事業概要



先輩から学ぶ 大学生向け起業塾

**START UP
ACADEMY**
in TOTTORI CITY

創業について理解を深める機会のある場を求めている市内大学生等の若者を主なターゲットとして、創業に必要な基礎知識を教授し、「起業家マインド」の醸成を図り、将来の本市の創業者の育成につなげていくことを目的に、令和5年度の新たな取組みとして、「若者創業塾」を実施しました。

鳥取市若者創業塾（経済・雇用戦略課）

事業内容

- (1) 日時 令和5年11月11日（土）、12日（日）、18日（日）
9時30分～17時30分
- (2) 会場 鳥取市民交流センター「麒麟square」2階多目的室2・3
- (3) 講師 坂口 繁雄（鳥取県よろず支援拠点ガチコーディネーター）
松浦 生（株式会社週末住人代表）
酒本 勇太（株式会社とっとりずむ代表）
小畑 明日香（ASNARO代表）
- (4) 参加者 4名
- (5) カリキュラム

1日目 起業のスタート地点に立つ

オリエンテーション、自己紹介
トーク①
 起業体験談 松浦生さん
レクチャー①
 起業家に必要なビジネスマインド
レクチャー②
 法人の種類、起業の手続き、
 事業計画の作り方
グループワーク
 事業計画を考えよう
中間発表+フィードバック
交流会

2日目 実践的な知識とスキルを身に着ける

トーク②
 起業体験談 酒本勇太さん
レクチャー③
 マーケティング手法
レクチャー④
 財務会計の基礎知識
グループワーク
 事業計画を考えよう
中間発表+フィードバック
個別相談会

3日目 夢を描く 未来を拓く

トーク③
 起業体験談 小畑明日香さん
レクチャー⑤
 経営理念・ビジョンの設定
グループワーク
 事業計画のまとめ
最終発表+フィードバック
補助金等支援体制の紹介
まとめ

鳥取市若者創業塾（経済・雇用戦略課）

実施の様子（講師）



・STARTUPACADEMYの様子



・トーク 坂口 繁雄さん（鳥取県よろず支援拠点 サブチーフコーディネーター）



・トーク① 松浦 生さん
（株式会社週末住人代表）



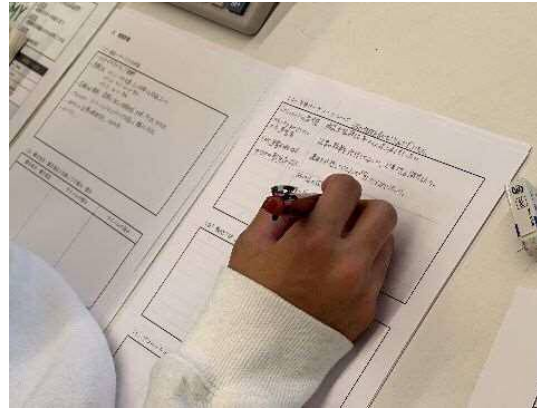
・トーク② 酒本 勇太さん
（株式会社とっとりずむ代表）



・トーク③ 小畑 明日香さん（ASNARO代表）

鳥取市若者創業塾（経済・雇用戦略課）

実施の様子（参加者）



受講した感想

- 一日かけてのワークショップだったので、集中力が持つか？と少し心配していましたが、少人数でアットホームな雰囲気だったので良かった。
- 少人数だったため自分達を中心により沿って進めて頂き、より自分のプラン・やりたいこと・やるべきことなどが鮮明になった。あとは行動を止めないようにします。
- ASNAROの木のデザインについて知らなかったなので、知れて良かった。普段聞くことがない内容なので、学ぶことができて良かった。とても満足です。

鳥取市若者創業塾（経済・雇用戦略課）

3. 事業実施の所感

- 受講生は、すでにWEBメディアを運営しInstagramのフォロワーがついていたり、イベント出店で商品やサービスを提供した経験のある人たちであったが、自身の取り組みを収益化して継続的に稼いでいくという視点は十分に持ち合わせていなかったため、ビジネスマインドの構築、開業にあたり取り組むべきことなどのレクチャーはスタートアップを後押しするには有意義であった。
- 受講生たちがこれまで行っていた取り組み（好きなこと、得意なこと）を軸に、ビジネスという観点からさらに稼げるポイントを学ぶことができ、受講生たちの視野と挑戦の幅が広がった。
- SNSやWEB広告からさらに一步進んだ広報ツールとして「ランディングページ（LP）」について学んだ回では、受講生から講師に「すぐにでもLPを制作したい」と個別相談する姿があった。
- セミナーが終了して数日後、受講生から「実際に店舗を借りたい」との相談があり、関係する団体にお繋ぎした。

4. 今後の方向性

新たな起業や新事業の創出は、地域産業に刺激を与え、地域活性化に繋がるものであり、また、若者の地元定着を推進するうえでは、地元人材の体験談なども含め、起業という選択肢を知っていただくことも有効であると考えます。来年度は、引き続き「起業」をテーマに、より多くの方に参加いただけるよう、内容を検討します。

鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業（政策企画課）1/2

1. 事業概要

本市に所在する大学または専門学校が学生を対象に行う「麒麟のまち圏域への就職促進活動」や「住み続けたいと思えるような魅力発見活動」を支援をすることで、若者定住の推進に取り組んでいます。

2. 取組状況

＜令和4年度＞3件

A専門学校：地元ガイドの案内による若桜町の散策・体験活動（学生53名）

B大学：鳥取砂丘でのワークショップ体験（学生10名）

C大学：県内企業への潜入取材ツアーなど（学生のべ112名）

（C大学の実施例）

県内企業の方を招いた対話型ワークショップを2回開催し、学生が自分事として鳥取で「働く・暮らす」ことについて考え、話す機会をもちました。

また、学生が県内企業の働く現場と、そこで働く社員の暮らしを体感できる潜入取材ツアーを10回開催し、その成果をもとに、企業の魅力を発信できるコンテンツ（動画）を作成しました。

制作した動画は「ローカルキャリアサミット」として、3年生全員対象の「合同企業セミナー」や各種SNSで公開しました。



鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業（政策企画課）2/2

2. 取組状況

＜令和5年度＞3件 ※令和6年1月現在

A専門学校：鳥取砂丘の散策、浦富海岸での遊覧船などの体験活動（学生50名）

B大学：鳥取砂丘でのワーケーション体験（学生10名）

C大学：県内企業への潜入取材ツアーなど（実施中）

（B大学の実施例）

学生が鳥取砂丘でセグウェイに搭乗し、雄大な自然に触れる体験活動を行いました。また、「SANDBOX TOTTORI」のワークスペースを会場に、鳥取砂丘周辺のマーケティング戦略について話し合うなど、ワーケーション体験を行いました。



3. 学生からの声

- コロナ禍でイベントもなく日々の授業だけでマンネリ化していましたが、自然体験や地域の人々の温かさにより、充実した1日になりました。
- 普段あまり行くことがない地域で様々な体験ができ、とても楽しかったです。
- 魅力的な観光地でワーケーションを体験することで、鳥取の魅力を再発見し、鳥取で「暮らし、働く」ことを具体的にイメージすることができました。
- 今回の活動を通じて、鳥取県内で自分の目標に近い事業をしている会社があることを知り、採用面接を受けてみました。
- クリエイティブな領域の仕事を目指しているが、実際に県内にそのような仕事があると知り、鳥取で働くことのハードルが下がったと思います。 など

⇒多くの学校で取り組んでいただけるよう、引き続き事業の周知を図っていきます